

スターチス・シヌアータの秋冬出し栽培法

佐 藤 弘・佐々木 建 治

(岩手県農業研究センター)

Cultivation Method of Statice (*Limonium sinuatum* Mill.) for Autumn and Winter Production

Hiroshi SATO and Kenji SASAKI

(Iwate Agricultural Research Center)

1 は じ め に

岩手県におけるスターチス・シヌアータの生産は5～7月出荷が主体であるが、この時期の生産量は過剰基調であり単価の低迷が問題となっている。これに対して、9～11月出荷の秋冬出し産地は少なく、単価面で有利に販売されていることから、寒冷地の気象条件を生かした秋冬出し作型の確立が求められていた。

そこで、秋冬出し栽培について本県沿岸部の夏季冷涼な気象条件を生かした簡易な育苗方法と、高品質生産技術を検討したところ知見が得られたので報告する。

2 試 験 方 法

(1) 試験Ⅰ 育苗方法

ソピアとアーリーブルーを供試品種とし、育苗方法について比較した。栽培は無加温で行い、抽苔茎の除去は1995年のみ定植後2週間まで除去した。

表2 切り花品質及び採花本数(品種:ソピア)

年	区	採花始期 (月/日)	切花長 (cm)	開花段数 (段)	株当たり採花本数				良品対比 (%)
					良品	規格外	病気障害	合計	
1994	1	8/8	49.0	5.4	5.0	7.2	6.4	18.6	82
	2	8/8	51.0	4.4	6.2	11.8	6.0	24.0	102
	3	8/8	50.0	4.0	5.3	17.6	2.5	25.4	87
	4	8/8	53.3	4.2	6.1	8.2	3.6	17.9	(100)
1995	1	8/28	62.7	4.9	7.3	2.2	1.6	10.9	66
	2	8/8	60.1	4.4	13.6	4.0	4.1	21.7	123
	3	8/28	65.2	4.9	10.7	2.6	5.7	18.5	96
	4	8/28	65.4	4.4	11.1	4.1	6.0	21.2	(100)

注. 採花打ち切り 11月末日

(2) 試験Ⅱ 抽苔茎除去

ソピア、アーリーブルーの定植後の早期抽苔茎除去期間を、定植後0, 2, 4週間の3段階で実施した。

<育苗方法>

- ・播種時期 4月30日(1995年), 4月27日(1996年)・
- ・播種後, 催芽種子を暗黒冷蔵(2℃, 30日間)処理し, その後定植まで雨よけハウス内で育苗(遮光率40～45%)
- ・定植時期 7月14日(1995年), 7月13日(1996年)

(3) 試験Ⅲ 遮光

ソピア, アーリーブルーで定植後の遮光(高温回避)期間を, 定植後0, 2, 4週間の3段階で実施した。

<育苗方法>

試験Ⅱと同じ

<育苗方法>

- ・育苗地 高冷地は標高430m, 平地は標高117mの雨よけハウス内育苗(40～45%遮光)
- ・種子冷蔵 催芽種子を2℃, 30日間暗黒冷蔵処理
- ・夜冷育苗 17:00～8:30の間, 13℃の暗黒冷蔵
8:30～17:00の間, 平地で雨よけハウス内育苗(40～45%遮光)で, 日数は夜冷育苗日数。
- ・各育苗方法における播種, 定植時期は表1に示したとおりである。

表1 播種, 定植時期

区	育苗方法	1994年		1995年	
		播種	定植	播種	定植
1	高 冷 地	5/18	7/8	5/22	7/11
2	種子冷蔵+高冷地	4/18	7/8	4/20	7/11
3	種子冷蔵+平地	4/27	7/8	4/30	7/11
4	種子冷蔵+夜冷60日	4/7	7/8	4/10	7/11

3 試験結果及び考察

(1) 育苗方法について

ソピアの良品採花本数は, 種子冷蔵に夜冷育苗を組み合わせた区で最も多く, 種子冷蔵に平地育苗を組み合わせた区でその87～96%であった(表2)。

また, アーリーブルーの良品採花本数は, 種子冷蔵に平地育苗を組み合わせた区は, 種子冷蔵に夜冷育苗を組み合わせた区の69～97%であった(表3)。アーリーブルーでは, ソピアに比較して試験年による変動が認められたが, これは抽苔茎除去の影響によるものと考えられる。

以上のことから, ソピア, アーリーブルーとも, 種子冷蔵に平地育苗を組み合わせた簡易な育苗法でも, 種子冷蔵

表3 切り花品質及び採花本数 (品種: アーリーブルー)

年	区	採花始期 (月/日)	切花長 (cm)	開花段数 (段)	株当たり採花本数				良品対比 (%)
					良品	規格外	病気障害	合計	
1994	1	8/9	67.5	6.8	2.9	1.8	0.8	5.5	40
	2	8/9	60.6	4.8	6.8	5.8	1.6	14.2	93
	3	8/9	58.1	5.1	7.1	6.5	1.9	15.5	97
	4	8/9	63.9	4.6	7.3	5.3	0.5	13.1	(100)
1995	1	9/29	91.1	7.8	0.7	0.0	0.2	0.9	7
	2	8/28	75.3	5.3	9.0	0.8	1.9	11.7	90
	3	8/28	76.4	5.2	6.9	1.2	1.4	9.4	69
	4	8/28	73.6	4.9	10.0	2.1	2.0	14.0	(100)

注. 採花打ち切り 11月末日

表4 抽苔茎除去による切花品質 (品質: ソピア)

年	区	抽苔茎除去 本数合計 (本/株)	採花始期 (月/日)	切花長 (cm)	良品 ¹⁾ 採花本数 (本/株)	良品率 ²⁾ (%)
1995	無処理	0.0	8/4	50.0	9.4	48.0
	2週間除去	4.2	8/24	56.1	10.6	57.6
	4週間除去	10.7	9/12	58.5	16.1	72.2
1996	無処理	0.0	8/20	55.1	12.1	49.8
	2週間除去	2.9	8/29	59.2	15.1	61.9
	4週間除去	12.8	9/10	59.4	16.6	65.6

注. 採花打ち切り 11月末日

1): 切花長50cm以上で品質良好なもの

2): 良品収穫本数÷株当たり収穫本数×100

表5 遮光による規格別採花本数 (品種: ソピア)

年	区	規格 ¹⁾ 別採花本数 (本/株)				上位規格品本数 (L + LL)	同左比率 ²⁾ (%)
		S	M	L	LL		
1995	無処理	3.8	4.1	2.0	0.8	2.8	26.4
	30% 2週間	4.9	3.3	1.9	1.5	3.4	29.6
	30% 4週間	2.4	2.9	4.0	1.9	5.9	53.2
	30% 6週間	3.0	2.1	1.3	0.6	1.9	27.1
1996	無処理	5.7	5.8	2.6	0.8	3.4	22.5
	30% 2週間	1.8	4.8	5.0	2.4	7.4	52.9
	30% 4週間	3.0	4.0	5.6	3.8	9.4	57.3
	30% 6週間	1.6	4.4	3.1	3.8	6.9	53.5
	60% 2週間	3.0	3.4	3.6	3.6	7.2	52.9
	60% 4週間	1.6	1.5	2.9	1.6	4.5	59.2

注. 採花打ち切り 11月末日

1): S: 50cm以上~60cm未満 M: 60cm以上~70cm未満 L: 70cm以上~80cm未満 LL: 80cm以上

2): 上位規格品本数÷規格別収穫本数合計×100

に夜冷育苗を組み合わせた場合とほぼ同等の収量が得られるものと考えられる。

(2) 早期抽苔茎の除去について

ソピアでは、定植後4週間まで発生する早期抽苔茎を除去することによって良品率が向上し、良品採花本数が増加した(表4)。しかし、アーリーブルーでは効果が認められず、効果に品種間差があるものと考えられる。

(3) 遮光

ソピアでは、遮光率30%程度の資材で定植後4週間までの遮光によって、上位規格品(L+LL規格)比率が向上し、上位規格品の採花本数が増加した。処理期間6週間では効果はやや低下し、遮光率60%では遮光率30%に比較して効果はやや劣った(表5)。アーリーブルーでは効果が認められず、効果に品種間差があるものと考えられる。

4 ま と め

本県沿岸部におけるスターチス・シヌアータの秋冬出し作型の育苗法としては、催芽種子冷蔵を基本とし、それに夜冷育苗を組み合わせるか、平地育苗を組み合わせる方法が有効と考えられる。この場合、夜冷育苗では収量の安定性が高く、一方、平地育苗では簡便で低コストであるなどの特徴がある。

また、ソピアでは定植後4週間までの早期抽苔茎除去により良品率が高まるとともに、定植後4週間まで遮光率30%程度の資材による遮光処理で上位規格品比率が高まるなどの品質向上効果が認められた。しかし、アーリーブルーでは早期抽苔茎除去、遮光による効果は認められなかった。